

- ◎家畜伝染病の防疫対策にしっかりと取り組もう。  
◎公共牧場の有効活用と自給飼料の安定確保を進めよう。

### <要約>

#### ◇ 乳用牛 ～夏季の飼育管理～

送風機は、牛体に風が直接当たるように設置する。ウォーターカップ等飲水設備は常に清潔にし、十分な飲水量が確保できるようにする。また、暑熱による日中の採食量低下を補うために、夜間の涼しい時間帯の給与量を増やすことも効果的である。

#### ◇ 肉用牛 ～夏季の飼育管理～

暑熱による採食量の低下を最小限にするため、飼料は夜間に給与したり、複数回に分けて給与する。飼料や水が変敗しないように、飼槽や水槽は常に清潔にする。また、牛舎内の資材は片づけるなどして、通風を妨げないようにする。

#### ◇ 豚 ～夏季の飼育管理～

窓の開放や送風機などにより、豚舎内の温度管理と換気に注意する。ただし、子豚には送風機などの風が直接当たらないようにする。

#### ◇ 鶏 ～夏季の飼育管理～

鶏舎の風通しを良くするとともに、屋根への散水や日よけの設置などを行う。また、採食量の低下を防ぐために、夜間に点灯して給餌を行うことも効果的である。

#### ◇ 草地・飼料作物 ～2番草の収穫と草地更新～

- 2番草の刈遅れは、収量及び品質の低下が著しく、3番草の伸長不足にもつながるので、刈取適期を逃さないよう特に注意する。
- 計画的に草地更新を行い、生産力の回復に努める。更新前には土壌診断を行い、その結果に基づいた土壌改良を行う。



報道機関用提出資料	
担当課 担当者	畜産課 経営支援グループ 加藤技師
電話番号	直通 017-734-9496 内線 3276
報道監	農林水産部 油川次長 内線 3182